

～こどもたちの未来を拓く新たなステップ～

鹿沼市立小中学校再編計画

前期実施プラン

【2024～2028】

(案)

令和6年11月

鹿沼市教育委員会

目 次

	頁
1. 学校再編計画の全体スケジュール	1
2. 前期実施プラン中の小中学校別の再編方針	2
3. 前期実施プランの実施スケジュール	3
現在の小学校の配置及び学校再編ブロック図	4
現在の中学校の配置及び学校再編ブロック図	5
4. 西小・加園小学校ブロック	6～8
5. 西中・加蘇中学校ブロック	9～11
6. 栗野地区・清洲地区・永野地区・粕尾地区ブロック	12～15
7. 南摩地区ブロック	16～19
8. 板荷地区ブロック	20～22
9. 南押原地区ブロック	23～26
10. 北犬飼地区ブロック	27～30

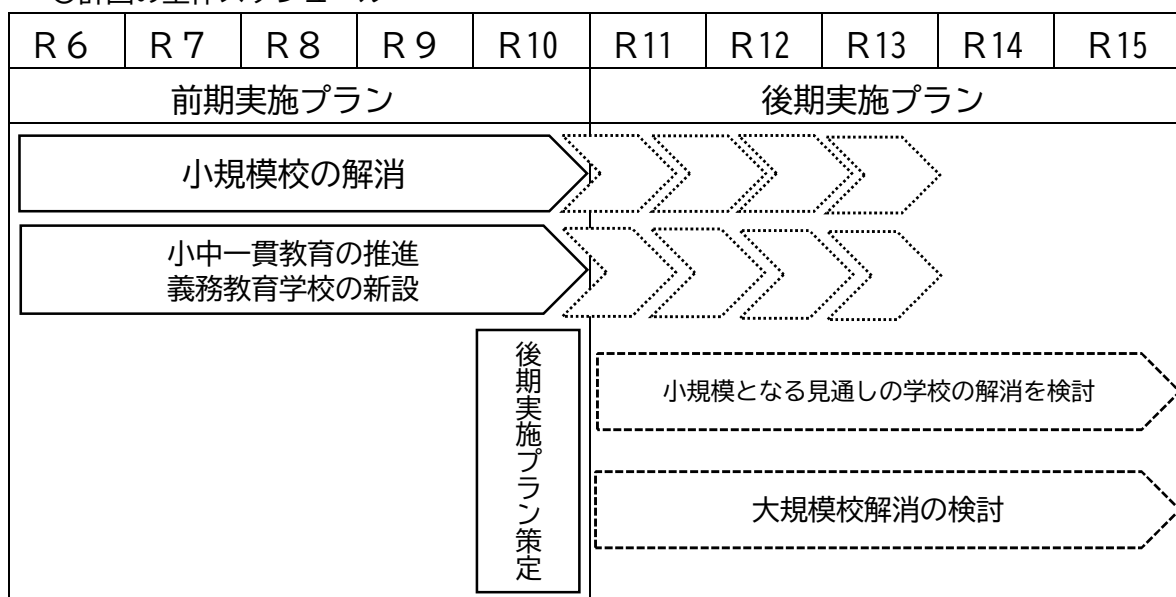
1 学校再編計画の全体スケジュール

○教育環境の格差を是正し、公平な教育環境を確保するためには、市全域的かつ計画的に学校再編を進める必要がありますが、本市における適正配置の実施にあたっては、対象となる小規模校が多く、対象地域も広範囲にわたることから、優先順位をつけて実施していく必要があります。

○また、小規模校となる見通しの学校や大規模校の解消は、児童生徒数の将来予測を勘案した上で、地域の将来的展望に立ち、新設もしくは学区の再編も含め、慎重に検討していく必要があります。

○そのため、事業展開フローを下記のように設定し、令和6～10年度までを前期実施プラン、令和11～15年度までを後期実施プランとして学校再編を図っていきます。

○計画の全体スケジュール



○本市の児童生徒数の将来予測は減少傾向にあり、今後の推移を十分見極める必要性が求められるため、継続的にその動向や事業を検証しながら、その中で社会情勢の急激な変化や法令改正等が生じた場合には、適宜実施プランの見直しを行うものとします。

2 前期実施プラン中の小中学校別の再編方針

再編の必要な小規模校の小学校は11校、中学校は3校あり、「学校の統廃合」や「通学区域の見直し」による解消を目指しています。小中学校ともに小規模校となっている地区については、小学校と中学校の再編を一体的に進めていく必要があります。

また、多様化・複雑化する学校現場の課題に対応していくため、小中一貫教育などの新たな教育制度について、学校再編と併せて積極的に検討します。

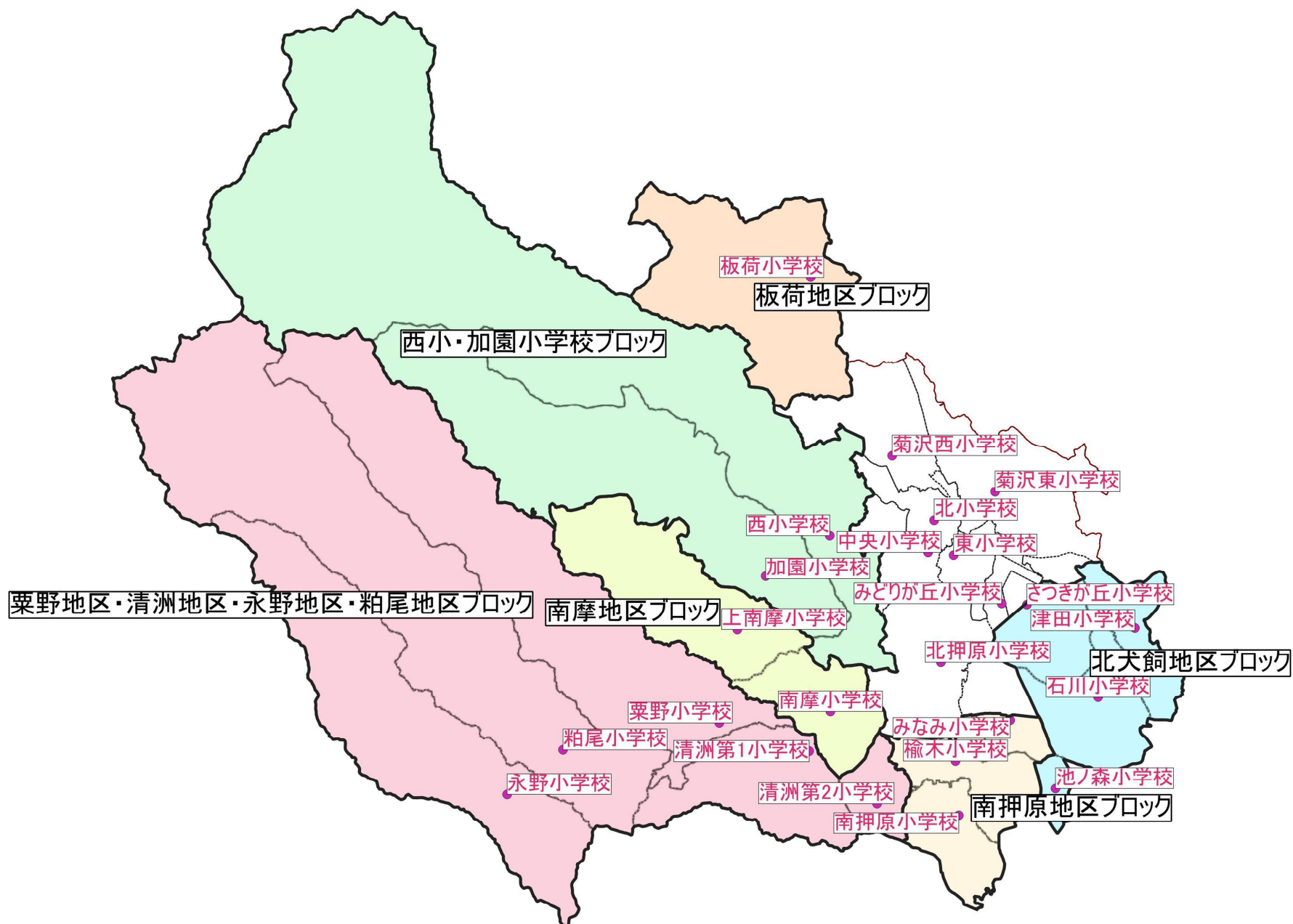
児童生徒数の将来見込みや通学距離を考慮した、ブロック別の再編方針は次のとおりです。

No	地区名	学校名	学校規模	目指す再編方針
1	東大芦 加蘇	西小学校 加園小学校	適正規模 小規模	西小学校の校舎を活用し、西小学校、加園小学校の統合を推進します。
2	鹿沼 加蘇	西中学校 加蘇中学校	適正規模 小規模	西中学校の校舎を活用し、西中学校、加蘇中学校の統合を推進します。
3	栗野 清洲 永野 粕尾	栗野小学校 清洲第1小学校 清洲第2小学校 永野小学校 粕尾小学校	適正規模 小規模 小規模 小規模 小規模	栗野小学校の校舎を活用し、栗野小学校、清洲第1小学校、清洲第2小学校、永野小学校、粕尾小学校の統合を推進します。
4	南摩	南摩小学校 上南摩小学校 南摩中学校	小規模 小規模 小規模	南摩小学校、上南摩小学校、南摩中学校の近隣校との統合に向けた検討を行います。
5	板荷	板荷小学校 板荷中学校	小規模 小規模	板荷小学校、板荷中学校の近隣校との統合に向けた検討を行います。
6	南押原	南押原小学校 楡木小学校 (みなみ小学校の一部) 南押原中学校	小規模 小規模 適正規模 適正規模	既存校舎を活用し、南押原小学校、楡木小学校、みなみ小学校(南上野町)を統合し、南押原中学校との小中一貫教育の実施を推進します。
7	北犬飼	石川小学校 津田小学校 池ノ森小学校 (さつきが丘小学校の一部) 北犬飼中学校	適正規模 適正規模 小規模 大規模 適正規模	校舎を新築し、石川小学校、津田小学校、池ノ森小学校、さつきが丘小学校(茂呂)を統合し、北犬飼中学校との義務教育学校の新設を推進します。

3 前期実施プランの実施スケジュール

No	学校名	前期					後期
		6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度～15年度
1	西小学校 加園小学校	説明・合意	開校準備会（2年間）		統合校 スタート		校舎整備
2	西中学校 加蘇中学校	説明・合意	開校準備会（2年間）		統合校 スタート		
3	栗野小学校 清洲第1小学校 清洲第2小学校 永野小学校 粕尾小学校	説明・合意	開校準備会（3年間見込）			統合校 スタート	
4	南摩小学校 上南摩小学校 南摩中学校	地区検討会 再編方針案を検討		結果に基づく再編方針の推進			
5	板荷小学校 板荷中学校	地区検討会 再編方針案を検討		結果に基づく再編方針の推進			
6	南押原小学校 楡木小学校 (みなみ小学校) 南押原中学校	説明	合意	開校準備会（3年間見込）			小中一貫教育 スタート
7	石川小学校 津田小学校 池ノ森小学校 (さつきが丘小学校) 北犬飼中学校	説明	合意	開校準備会（6年間見込）			義務教育学校 スタート 校舎整備

現在の小学校の配置及び学校再編ブロック図



現在の中学校の配置及び学校再編ブロック図



4 西小・加園小学校ブロック

1. 学校の状況及び再編方針

この地区では、西小学校が適正規模校、加園小学校が小規模校となっています。児童数は、平成25年から令和5年までの10年間で、約28%減少しており、今後10年間で、さらに約43%減少することが見込まれていることから、2つの小学校の統合により、適正規模を確保していきます。

また、西小学校の校舎は建築から50年以上経過しており、改修や長寿命化等の再整備を計画しています。

2. 児童数の推移と今後の見込み

学校名	学年	平成 25 年	平成 30 年	令和 5 年	令和 10 年	令和 15 年
① 西小学校	1 学年	24	32	21	11	16
	2 学年	41	30	21	17	16
	3 学年	35	31	34	13	17
	4 学年	41	40	30	15	10
	5 学年	35	39	35	19	15
	6 学年	29	25	29	22	11
	計	205	197	170	97	85
② 加園小学校	1 学年	13	7	5	9	5
	2 学年	13	12	9	5	5
	3 学年	14	17	4	8	6
	4 学年	17	14	6	7	2
	5 学年	16	18	7	3	8
	6 学年	11	13	7	5	9
	計	84	81	38	37	35
合計	1 学年	37	39	26	20	21
	2 学年	54	42	30	22	21
	3 学年	49	48	38	21	23
	4 学年	58	54	36	22	12
	5 学年	51	57	42	22	23
	6 学年	40	38	36	27	20
	計	289	278	208	134	120

3. 小学校の施設概要

	学校名	西小学校
	建築年（経過年数）	昭和 47 年（52 年）
	構造／階層	鉄筋コンクリート造／2 階建
	床面積／敷地面積	3,792 m ² ／19,006 m ²
	構成施設	校舎、屋内運動場ほか
	大規模改修年	—

	学校名	加園小学校
	建築年（経過年数）	平成 6 年（30 年）
	構造／階層	鉄筋コンクリート造／3 階建
	床面積／敷地面積	2,929 m ² ／14,147 m ²
	構成施設	校舎、屋内運動場ほか
	大規模改修年	—

4 統合の対象となる地域の通学区域図

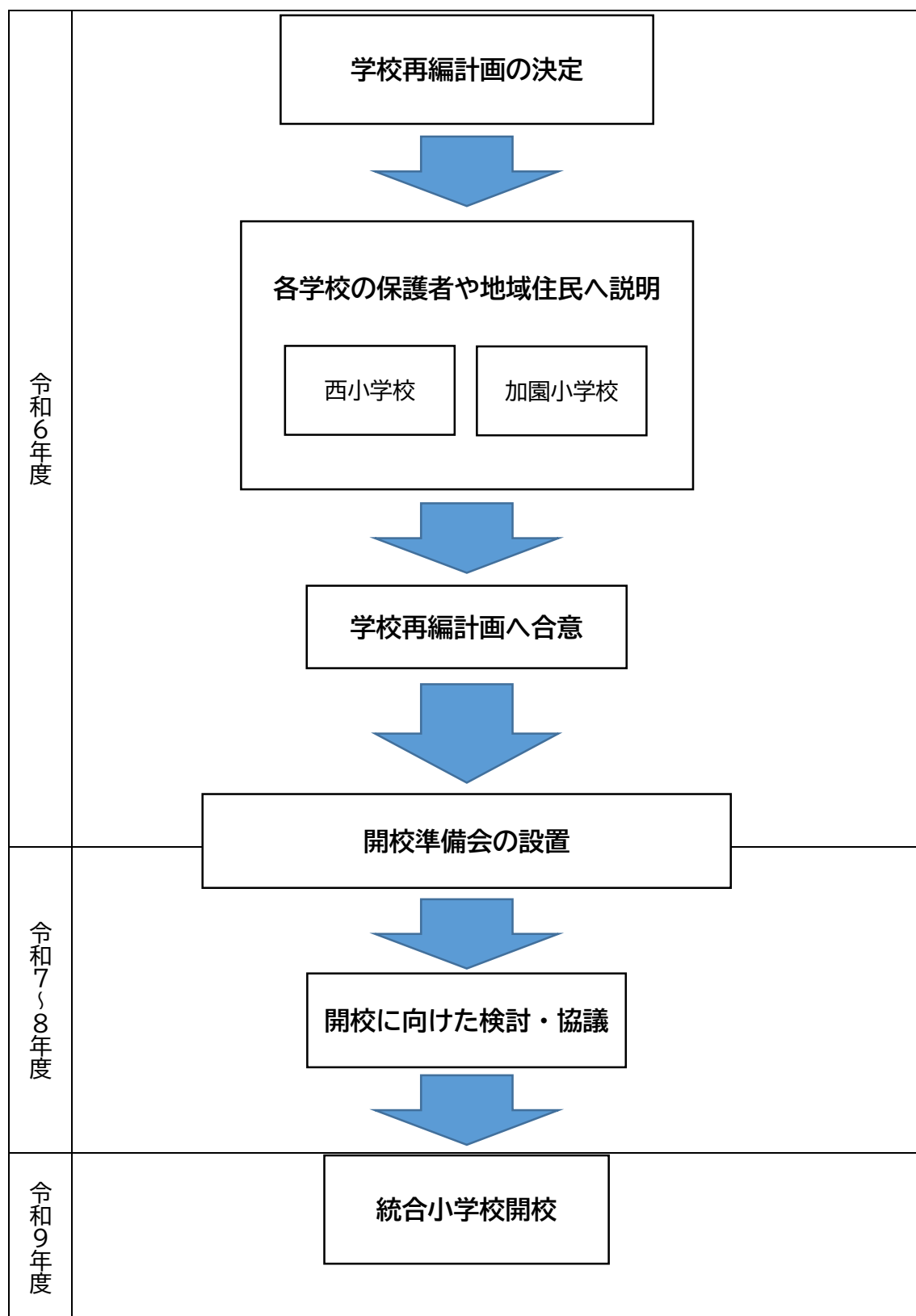
統合となる通学区域は、現在の西小学校、加園小学校の2校の通学区域を合わせた区域とします。なお、新校の通学区域内の町名は、次のとおりです。

- ①西小学校 ：酒野谷・下日向・上日向・深岩・笹原田・下沢・引田・日吉町の一部・下大久保・上大久保・草久
- ②加園小学校：野尻・加園・下久我・上久我

【通学区域図】



5 開校までのスケジュール



5 西中・加蘇中学校ブロック

1. 学校の状況及び再編方針

この地区では、西中学校が適正規模校、加蘇中学校が小規模校となっています。生徒数は、平成25年から令和5年までの10年間で、約17%減少しており、今後10年間で、さらに約38%減少することが見込まれていることから、2つの中学校の統合を推進し、適正規模を確保していきます。

2. 生徒数の推移と今後の見込み

学校名	学年	平成 25 年	平成 30 年	令和 5 年	令和 10 年	令和 15 年
① 西中学校	1 学年	159	121	115	95	82
	2 学年	140	112	113	110	66
	3 学年	114	132	123	101	71
	計	413	365	351	306	219
② 加蘇中学校	1 学年	15	12	12	12	5
	2 学年	13	12	10	6	8
	3 学年	19	8	10	8	7
	計	47	32	32	26	20
合計	1 学年	174	133	127	107	87
	2 学年	153	124	123	116	74
	3 学年	133	140	133	109	78
	計	460	397	383	332	239

3. 中学校の施設概要

	学校名	西中学校
	建築年（経過年数）	平成 16 年（20 年）
	構造／階層	鉄骨造／2 階建
	床面積／敷地面積	8,623 m ² ／58,859 m ²
	構成施設	校舎、屋内運動場ほか
	大規模改修年	—

	学校名	加蘇中学校
	建築年（経過年数）	平成元年（35 年）
	構造／階層	鉄筋コンクリート造／3 階建
	床面積／敷地面積	2,512 m ² ／16,119 m ²
	構成施設	校舎、屋内運動場ほか
	大規模改修年	—

4 統合の対象となる地域の通学区域図

統合となる通学区域は、現在の西小学校、加園小学校の2校の通学区域を合わせた区域とします。なお、新校の通学区域内の町名は、次のとおりです。

①西中学校

久保町・銀座1丁目・銀座2丁目・今宮町・仲町・麻苧町・石橋町・下材木町・寺町・蓬萊町・三幸町・鳥居跡町・下横町・西鹿沼町・日吉町・花岡町・天神町・戸張町・上材木町・千手町・坂田山1丁目・坂田山2丁目・坂田山3丁目・坂田山4丁目・下日向・上日向・深岩・引田・酒野谷・下沢・笹原田・村井町の一部・上殿町の一部・下大久保・上大久保・草久

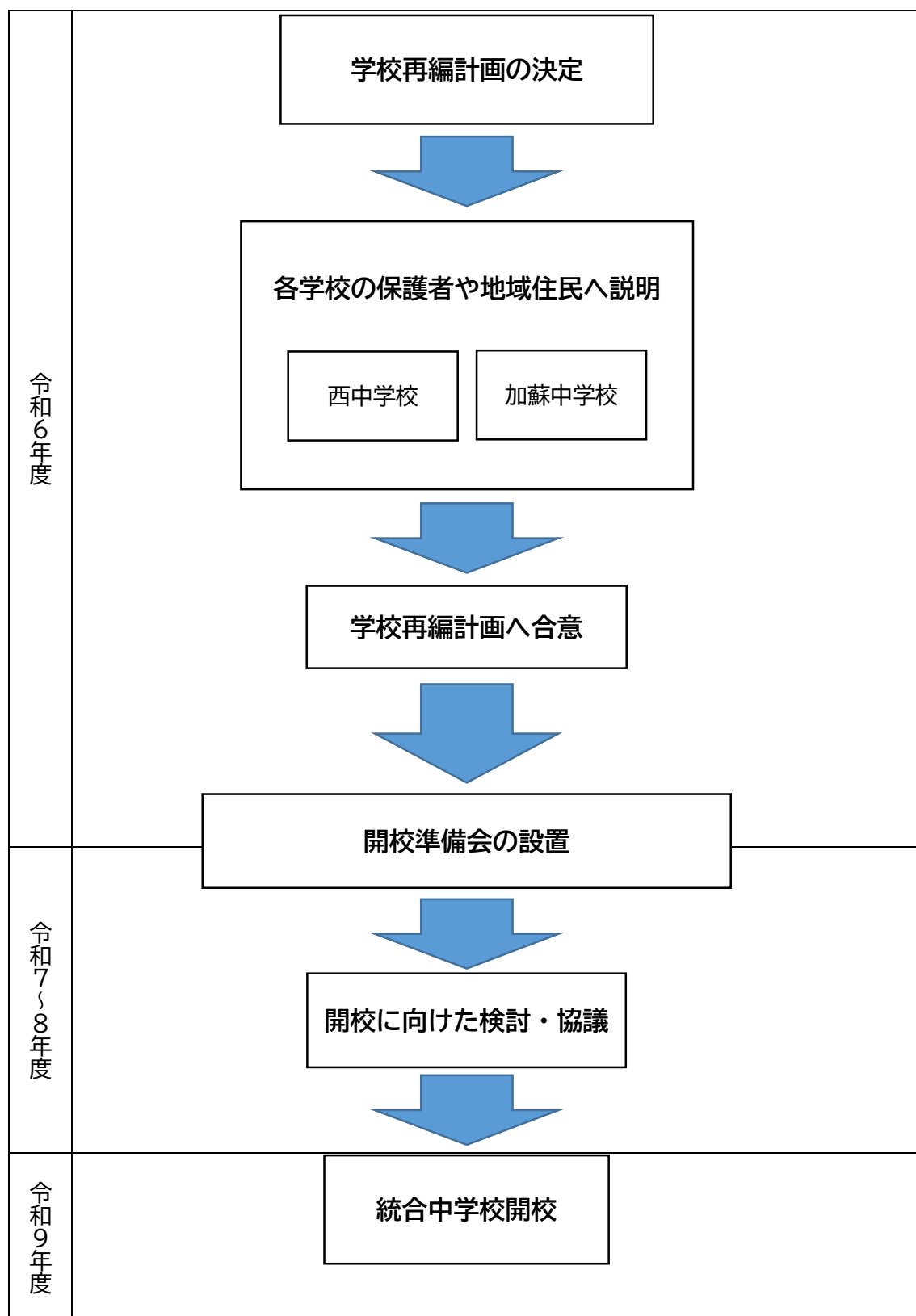
②加蘇中学校

野尻・加園・下久我・上久我

【通学区域図】



5 開校までのスケジュール



6 栗野地区・清洲地区・永野地区・粕尾地区ブロック

1. 学校の状況及び再編方針

この地区では、栗野小学校が適正規模校、清洲第1小学校、清洲第2小学校、永野小学校、粕尾小学校が小規模校となっています。児童数は、平成25年から令和5年までの10年間で、約50%減少しており、今後10年間で、さらに約40%減少することが見込まれていることから、5つの小学校の統合を推進し、適正規模を確保していきます。

2. 児童数の推移と今後の見込み

学校名	学年	平成 25 年	平成 30 年	令和 5 年	令和 10 年	令和 15 年
① 栗野小学校	1 学年	18	8	10	6	8
	2 学年	24	19	16	7	8
	3 学年	30	24	10	13	8
	4 学年	26	18	16	6	3
	5 学年	30	31	17	7	2
	6 学年	29	19	9	10	6
	計	157	119	78	49	35
② 清洲第1小学校	1 学年	5	1	5	2	4
	2 学年	19	6	6	7	4
	3 学年	8	5	5	5	4
	4 学年	15	6	5	4	6
	5 学年	17	10	8	7	4
	6 学年	23	5	1	5	2
	計	87	33	30	30	24
③ 清洲第2小学校	1 学年	10	9	8	5	4
	2 学年	10	2	7	3	4
	3 学年	17	9	7	5	4
	4 学年	11	6	6	6	3
	5 学年	16	8	3	7	3
	6 学年	11	10	10	7	5
	計	75	44	41	33	23
④ 永野小学校	1 学年	4	3	3	4	3
	2 学年	7	8	6	5	3
	3 学年	6	3	2	5	3
	4 学年	8	4	4	4	1
	5 学年	7	3	0	4	4
	6 学年	6	3	2	3	4
	計	38	24	17	25	18
⑤ 粕尾小学校	1 学年	9	7	9	4	4
	2 学年	8	2	5	6	4
	3 学年	8	9	9	1	4
	4 学年	9	2	4	11	2
	5 学年	13	14	3	2	4
	6 学年	7	7	8	9	4
	計	54	41	38	33	22
合計	1 学年	46	28	35	21	23
	2 学年	68	37	40	28	23
	3 学年	69	50	33	29	23
	4 学年	69	36	35	31	15
	5 学年	83	66	31	27	17
	6 学年	76	44	30	34	21
	計	411	261	204	170	122

3. 小学校の施設概要

	学校名	栗野小学校
	建築年（経過年数）	平成 26 年（10 年）
	構造／階層	木造／2 階建
	床面積／敷地面積	3,061 m ² ／14,988 m ²
	構成施設	校舎、屋内運動場ほか
	大規模改修年	—

	学校名	清洲第 1 小学校
	建築年（経過年数）	平成 8 年（28 年）
	構造／階層	鉄筋コンクリート造／2 階建
	床面積／敷地面積	2,082 m ² ／13,345 m ²
	構成施設	校舎、屋内運動場ほか
	大規模改修年	—

	学校名	清洲第 2 小学校
	建築年（経過年数）	昭和 60 年（39 年）
	構造／階層	鉄筋コンクリート造／2 階建
	床面積／敷地面積	1,539 m ² ／13,219 m ²
	構成施設	校舎、屋内運動場ほか
	大規模改修年	—

	学校名	永野小学校
	建築年（経過年数）	昭和 48 年（51 年）
	構造／階層	鉄筋コンクリート造／2 階建
	床面積／敷地面積	2,003 m ² ／10,361 m ²
	構成施設	校舎、屋内運動場ほか
	大規模改修年	—

	学校名	粕尾小学校
	建築年（経過年数）	昭和 46 年（53 年）
	構造／階層	鉄筋コンクリート造／2 階建
	床面積／敷地面積	1,819 m ² ／9,660 m ²
	構成施設	校舎、屋内運動場ほか
	大規模改修年	—

4 統合の対象となる地域の通学区域図

統合となる通学区域は、現在の栗野小学校、清洲第1小学校、清洲第2小学校、永野小学校、粕尾小学校の5校の通学区域を合わせた区域とします。なお、新校の通学区域内の町名は、次のとおりです。

①栗野小学校

口栗野・中栗野・入栗野・柏木

②清洲第1小学校

久野・深程の一部(清洲橋の西側の地域)

③清洲第2小学校

北半田・深程の一部(清洲橋の東側の地域)

④永野小学校

下永野・上永野

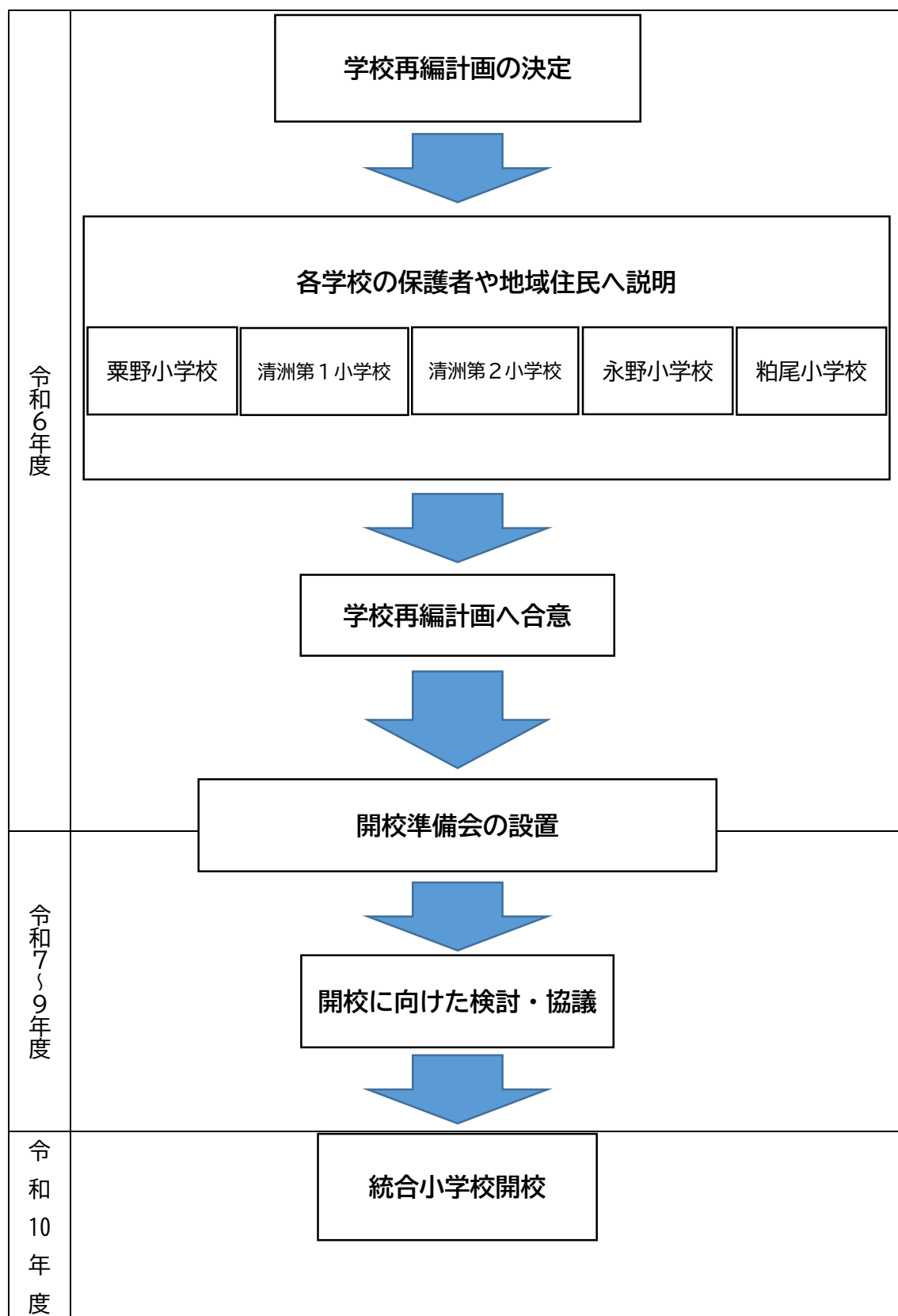
⑤粕尾小学校

下粕尾・中粕尾・上粕尾

【通学区域図】



5 開校までのスケジュール



7 南摩地区ブロック

1. 学校の状況及び再編方針

この地区では、南摩小学校、上南摩小学校、南摩中学校が小規模校となっています。平成25年から令和5年までの10年間で、児童数は約42%減少、生徒数は約27%減少しており、今後10年間で、さらに児童数が約58%減少、生徒数が約36%減少することが見込まれていることから、学校再編を検討し、適正規模の確保に努めていきます。

2. 児童生徒数の推移と今後の見込み

(1) 小学校

学校名	学年	平成 25 年	平成 30 年	令和 5 年	令和 10 年	令和 15 年
① 南摩小学校	1 学年	19	9	17	3	6
	2 学年	19	14	6	7	6
	3 学年	19	13	10	5	6
	4 学年	17	10	13	7	2
	5 学年	27	18	14	6	4
	6 学年	14	20	10	16	3
	計	115	84	70	44	27
② 上南摩小学校	1 学年	3	1	1	0	2
	2 学年	9	3	3	2	2
	3 学年	2	1	3	4	2
	4 学年	8	2	4	2	2
	5 学年	1	6	2	1	0
	6 学年	5	2	1	2	0
	計	28	15	14	11	8
合計	1 学年	22	10	18	3	8
	2 学年	28	17	9	9	8
	3 学年	21	14	13	9	8
	4 学年	25	12	17	9	4
	5 学年	28	24	16	7	4
	6 学年	19	22	11	18	3
	計	143	99	84	55	35

(2) 中学校

学校名	学年	平成 25 年	平成 30 年	令和 5 年	令和 10 年	令和 15 年
① 南摩中学校	1 学年	36	28	14	11	9
	2 学年	30	19	17	13	9
	3 学年	18	23	11	18	9
	計	84	70	42	42	27

3. 学校の施設概要

(1) 小学校

	学校名	南摩小学校
	建築年（経過年数）	昭和 62 年（37 年）
	構造／階層	鉄筋コンクリート造／3 階建
	床面積／敷地面積	2,176 m ² ／10,695 m ²
	構成施設	校舎、屋内運動場ほか
	大規模改修年	—

	学校名	上南摩小学校
	建築年（経過年数）	平成 3 年（33 年）
	構造／階層	鉄筋コンクリート造／3 階建
	床面積／敷地面積	2,138 m ² ／11,676 m ²
	構成施設	校舎、屋内運動場ほか
	大規模改修年	—

(2) 中学校

	学校名	南摩中学校
	建築年（経過年数）	昭和 61 年（38 年）
	構造／階層	鉄筋コンクリート造／2 階建
	床面積／敷地面積	2,626 m ² ／19,101 m ²
	構成施設	校舎、屋内運動場ほか
	大規模改修年	—

4 再編の対象となる地域の通学区域図

現在の南摩小学校、上南摩小学校、南摩中学校の3校の通学区域は、次のとおりです。

①南摩小学校

佐目町・油田町・下南摩町・西沢町

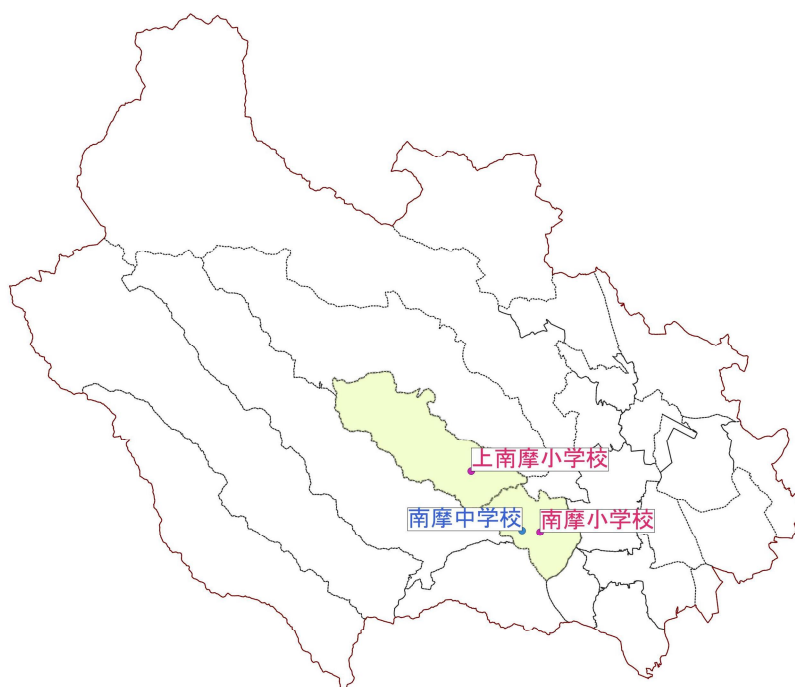
②上南摩小学校

上南摩町・旭が丘

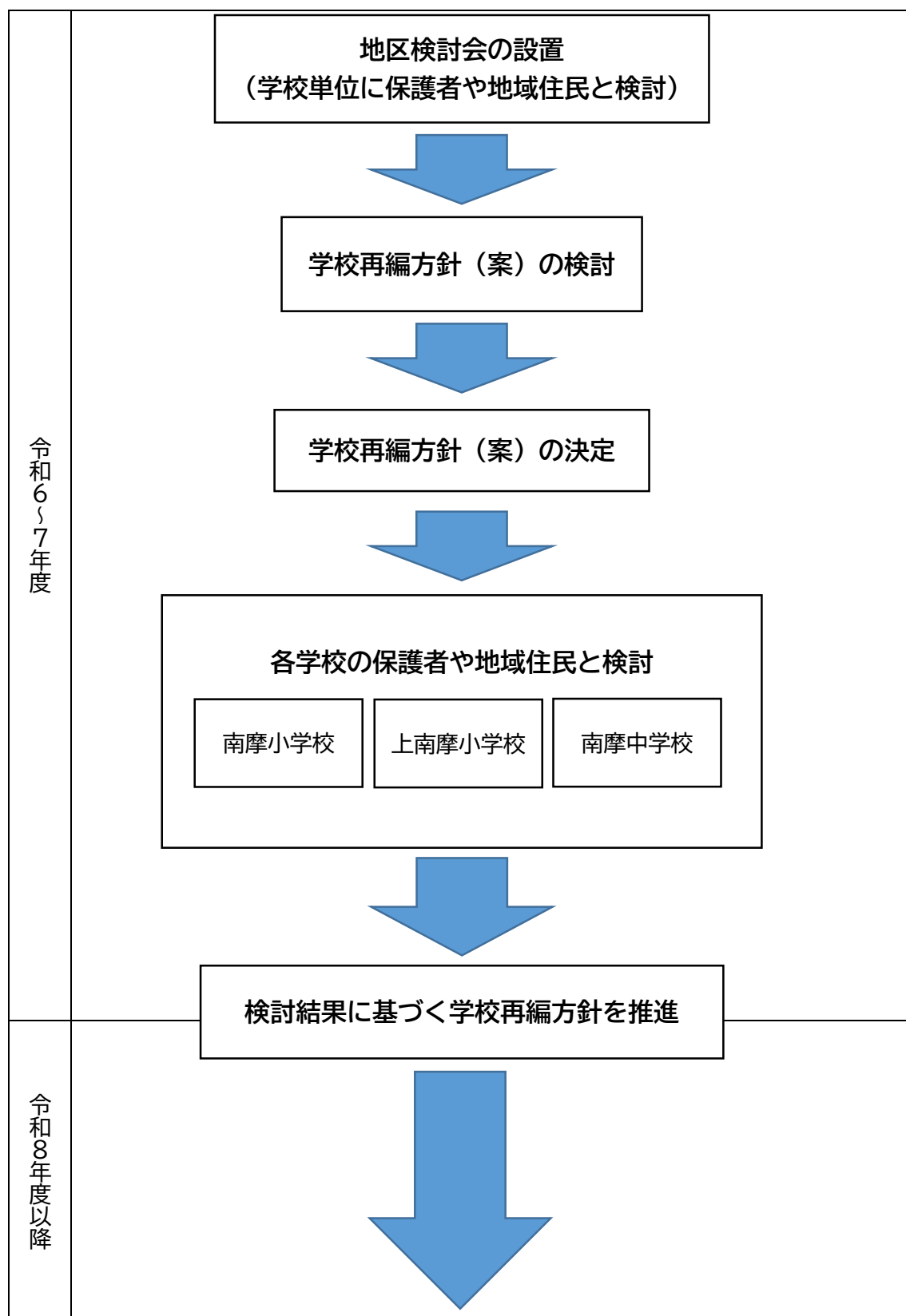
③南摩中学校

佐目町・油田町・下南摩町・西沢町・上南摩町・旭が丘

【通学区域図】



5 学校再編の検討スケジュール



8 板荷地区ブロック

1. 学校の状況及び再編方針

この地区では、板荷小学校、板荷中学校が小規模校となっています。児童数は、平成25年から令和5年までの10年間で、児童数は約36%減少し、生徒数は維持しておりますが、今後10年間で、さらに児童数が約66%減少、生徒数が約80%減少することが見込まれることから、学校再編を検討し、適正規模の確保に努めていきます。

2. 児童生徒数の推移と今後の見込み

(1) 小学校

学校名	学年	平成25年	平成30年	令和5年	令和10年	令和15年
① 板荷小学校	1学年	16	13	5	3	3
	2学年	11	19	5	3	3
	3学年	7	9	4	2	3
	4学年	13	12	11	2	1
	5学年	13	13	9	5	3
	6学年	11	15	12	5	3
	計	71	81	46	20	16

(2) 中学校

学校名	学年	平成25年	平成30年	令和5年	令和10年	令和15年
② 板荷中学校	1学年	5	11	17	5	3
	2学年	8	6	8	4	2
	3学年	20	13	9	9	2
	計	33	30	34	18	7

3. 小学校の施設概要

(1) 小学校

	学校名	板荷小学校
	建築年（経過年数）	平成2年（34年）
	構造／階層	鉄筋コンクリート造／3階建
	床面積／敷地面積	2,263㎡／15,672㎡
	構成施設	校舎、屋内運動場ほか
	大規模改修年	—

(2) 中学校

	学校名	板荷中学校
	建築年（経過年数）	平成7年（29年）
	構造／階層	鉄筋コンクリート造／3階建
	床面積／敷地面積	2,297㎡／18,293㎡
	構成施設	校舎、屋内運動場ほか
	大規模改修年	—

4 再編の対象となる地域の通学区域図

現在の板荷小学校、板荷中学校の2校の通学区域は、次のとおりです。

①板荷小学校

板荷

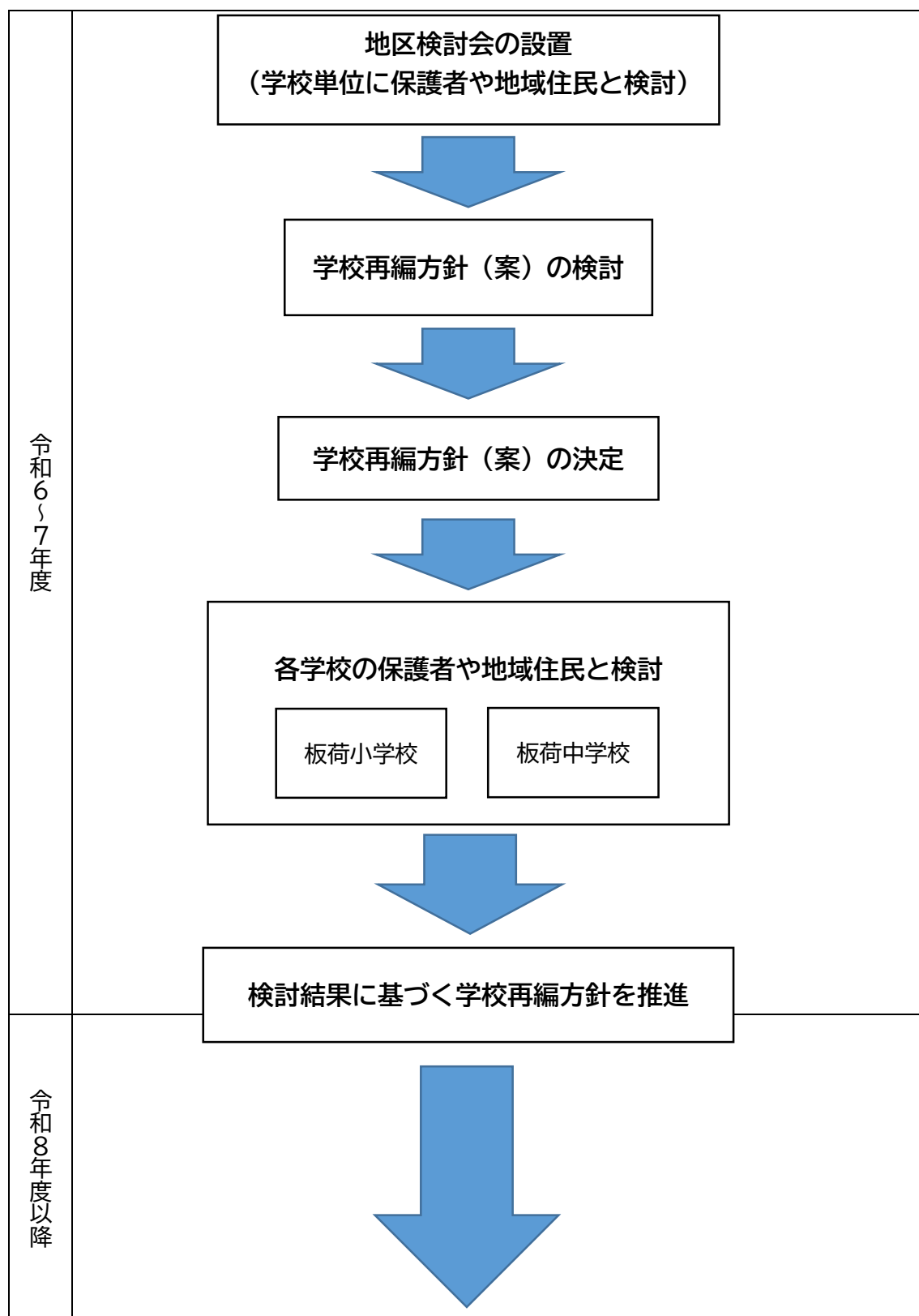
②板荷中学校

板荷

【通学区域図】



5 学校再編の検討スケジュール



9 南押原地区ブロック

1. 学校の状況及び再編方針

この地区では、みなみ小学校、南押原中学校が適正規模校、南押原小学校、楡木小学校が小規模校となっています。平成25年から令和5年までの10年間で、児童数は約50%減少し、生徒数は約27%減少しており、今後10年間で、さらに児童数が約33%減少、生徒数が約29%することが見込まれています。

小学校の統合と通学区の見直しにより、適正規模を確保しつつ、地区内の中学校との新たな教育体制（小中一貫教育）を推進していきます。

2. 児童生徒数の推移と今後の見込み

(1) 小学校

※みなみ小学校は、南押原中学校区の児童数

学校名	学年	平成 25 年	平成 30 年	令和 5 年	令和 10 年	令和 15 年
① 南押原小学校	1 学年	14	8	5	4	4
	2 学年	10	5	6	3	4
	3 学年	18	10	7	3	4
	4 学年	7	11	6	8	3
	5 学年	15	11	5	5	4
	6 学年	18	14	8	5	4
	計	82	59	37	28	23
② 楡木小学校	1 学年	15	11	12	7	8
	2 学年	17	16	12	7	8
	3 学年	20	17	2	13	8
	4 学年	16	11	14	10	7
	5 学年	15	10	14	5	9
	6 学年	13	14	12	12	7
	計	96	79	66	54	47
※③ みなみ小学校 ※南上野町地区	1 学年	5	4	2	2	2
	2 学年	7	6	2	2	2
	3 学年	2	6	2	3	2
	4 学年	6	7	3	2	2
	5 学年	6	10	6	1	2
	6 学年	8	5	3	2	2
	計	34	38	18	12	12
合 計	1 学年	34	23	19	13	14
	2 学年	34	27	20	12	14
	3 学年	40	33	11	19	14
	4 学年	29	29	23	20	12
	5 学年	36	31	25	11	15
	6 学年	39	33	23	19	13
	計	212	176	121	94	82

(2) 中学校

学校名	学年	平成 25 年	平成 30 年	令和 5 年	令和 10 年	令和 15 年
① 南押原中学校	1 学年	41	30	23	18	11
	2 学年	35	39	31	10	18
	3 学年	36	28	28	24	20
	計	112	97	82	52	49

3. 小中学校の施設概要

①小学校

	学校名	南押原小学校
	建築年（経過年数）	昭和 63 年（36 年）
	構造／階層	木造・鉄筋コンクリート造／2 階建
	床面積／敷地面積	2,127 m ² ／18,112 m ²
	構成施設	校舎、屋内運動場ほか
	大規模改修年	—

	学校名	楡木小学校
	建築年（経過年数）	昭和 48 年（51 年）
	構造／階層	鉄筋コンクリート造／3 階建
	床面積／敷地面積	1,925 m ² ／10,454 m ²
	構成施設	校舎、屋内運動場ほか
	大規模改修年	—

	学校名	みなみ小学校
	建築年（経過年数）	昭和 56 年（43 年）
	構造／階層	鉄筋コンクリート造／2 階建
	床面積／敷地面積	3,494 m ² ／32,600 m ²
	構成施設	校舎、屋内運動場ほか
	大規模改修年	—

②中学校

	学校名	南押原中学校
	建築年（経過年数）	昭和 60 年（39 年）
	構造／階層	鉄筋コンクリート造／2 階建
	床面積／敷地面積	3,176 m ² ／23,941 m ²
	構成施設	校舎、屋内運動場ほか
	大規模改修年	—

4 統合の対象となる地域の通学区域図

統合となる通学区域は、現在の南押原小学校、榆木小学校、みなみ小学校（一部）の3校の通学区域を合わせた区域とします。なお、統合小学校と中学校の通学区域内の町名は、次のとおりです。

①南押原小学校

磯町・野沢町・亀和田町・北赤塚町

②榆木小学校

榆木町・大和田町・藤江町

③みなみ小学校

南上野町 ※南押原中学校区のみ

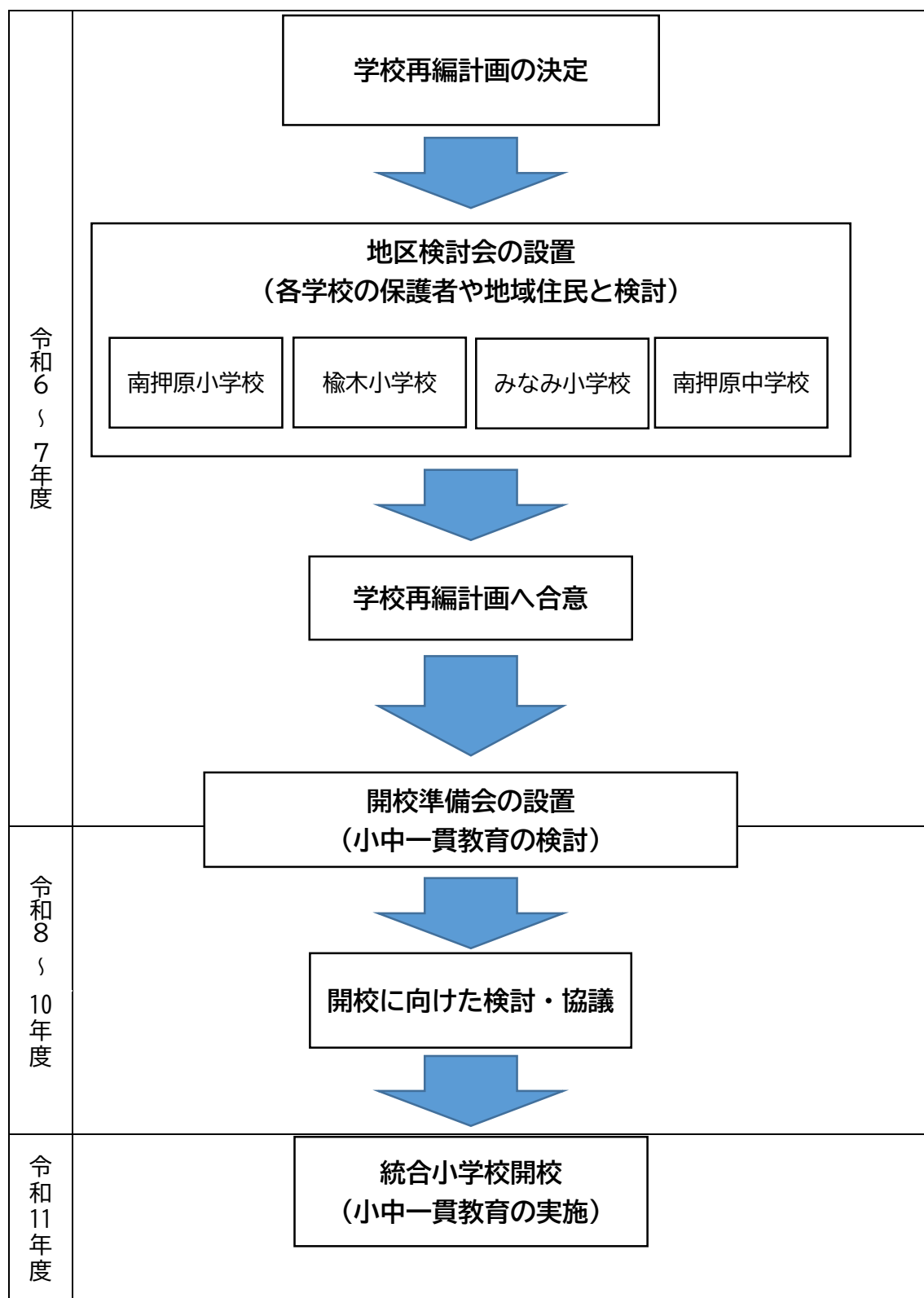
④南押原中学校

榆木町・磯町・野沢町・亀和田町・北赤塚町・藤江町・南上野町・大和田町

【通学区域図】



5 開校までのスケジュール



10 北犬飼地区ブロック

1. 学校の状況及び再編方針

この地区では、石川小学校、津田小学校、北犬飼中学校が適正規模校、池ノ森小学校が小規模校、さつきが丘小学校が大規模校となっています。平成25年から令和5年までの10年間で、児童数が約27%減少し、生徒数が約19%減少しており、今後10年間で、さらに児童数が約23%減少、生徒数が約22%減少する見込みとなっています。

北犬飼中学校は、適正規模校となっていますが、校舎建築から50年を経過し、建物の更新が必要な時期になっています。

地区内の小学校の統合と通学区域の見直しにより、適正規模を確保しつつ、老朽化が進んでいる中学校の校舎の更新に合わせて、新たな教育体制を導入し、義務教育学校の新設を推進していきます。

2. 児童生徒数の推移と今後の見込み

(1) 小学校

※さつきが丘小学校は、北犬飼中学校区の児童数

学校名	学年	平成 25 年	平成 30 年	令和 5 年	令和 10 年	令和 15 年
① 石川小学校	1 学年	30	26	24	16	17
	2 学年	38	27	27	24	17
	3 学年	24	22	30	19	18
	4 学年	26	31	26	23	29
	5 学年	28	20	22	20	19
	6 学年	33	29	27	21	16
	計	179	155	156	123	116
② 津田小学校	1 学年	34	28	13	11	13
	2 学年	45	33	22	12	14
	3 学年	43	39	25	15	14
	4 学年	49	35	20	15	10
	5 学年	35	34	27	28	9
	6 学年	63	33	28	16	11
	計	269	202	135	97	71
③ 池ノ森小学校	1 学年	3	3	1	2	2
	2 学年	3	3	1	1	2
	3 学年	0	3	7	6	2
	4 学年	1	3	4	0	2
	5 学年	1	3	4	6	1
	6 学年	4	3	3	1	2
	計	12	18	20	16	11
※ 茂呂地区 ④ さつきが丘小学校	1 学年	22	15	22	23	21
	2 学年	19	20	19	27	21
	3 学年	25	14	19	21	21
	4 学年	15	18	19	22	21
	5 学年	21	26	18	27	23
	6 学年	13	22	14	26	23
	計	115	115	111	146	130
合 計	1 学年	89	72	60	52	53
	2 学年	105	83	69	64	54
	3 学年	92	78	81	61	55
	4 学年	91	87	69	60	62
	5 学年	85	83	71	81	52
	6 学年	113	87	72	64	52
	計	575	490	422	382	328

(2) 中学校

学校名	学年	平成 25 年	平成 30 年	令和 5 年	令和 10 年	令和 15 年
⑤ 北犬飼中学校	1 学年	83	104	80	70	66
	2 学年	101	87	73	79	58
	3 学年	100	83	79	66	59
	計	284	274	232	215	183

3. 小中学校の施設概要

(1) 小学校

	学校名	石川小学校
	建築年（経過年数）	昭和 59 年（40 年）
	構造／階層	鉄筋コンクリート造／2 階建
	床面積／敷地面積	2,460 m ² ／25,224 m ²
	構成施設	校舎、屋内運動場ほか
	大規模改修年	—

	学校名	津田小学校
	建築年（経過年数）	昭和 63 年（36 年）
	構造／階層	鉄筋コンクリート造／3 階建
	床面積／敷地面積	3,696 m ² ／19,750 m ²
	構成施設	校舎、屋内運動場ほか
	大規模改修年	—

	学校名	池ノ森小学校
	建築年（経過年数）	平成元年（35 年）
	構造／階層	鉄筋コンクリート造／3 階建
	床面積／敷地面積	2,075 m ² ／14,135 m ²
	構成施設	校舎、屋内運動場ほか
	大規模改修年	—

	学校名	さつきが丘小学校
	建築年（経過年数）	昭和 50 年（49 年）
	構造／階層	鉄筋コンクリート造／3 階建
	床面積／敷地面積	6,700 m ² ／26,487 m ²
	構成施設	校舎、屋内運動場ほか
	大規模改修年	—

(2) 中学校

	学校名	北犬飼中学校
	建築年（経過年数）	昭和 49 年（50 年）
	構造／階層	鉄筋コンクリート造／2 階建
	床面積／敷地面積	4,567 m ² ／33,008 m ²
	構成施設	校舎、屋内運動場ほか
	大規模改修年	—

4 統合の対象となる地域の通学区域図

統合となる通学区域は、現在の石川小学校、津田小学校、池ノ森小学校、さつきが丘小学校（一部）の4校の通学区域を合わせた区域とします。なお、義務教育学校の通学区域内の町名は、次のとおりです。

①石川小学校

上石川・下石川・さつき町・流通センター

②津田小学校

深津・白桑田・松原1丁目・松原2丁目・松原3丁目・松原4丁目

③池ノ森小学校

池ノ森

④さつきが丘小学校

茂呂 ※北犬飼中学校区のみ

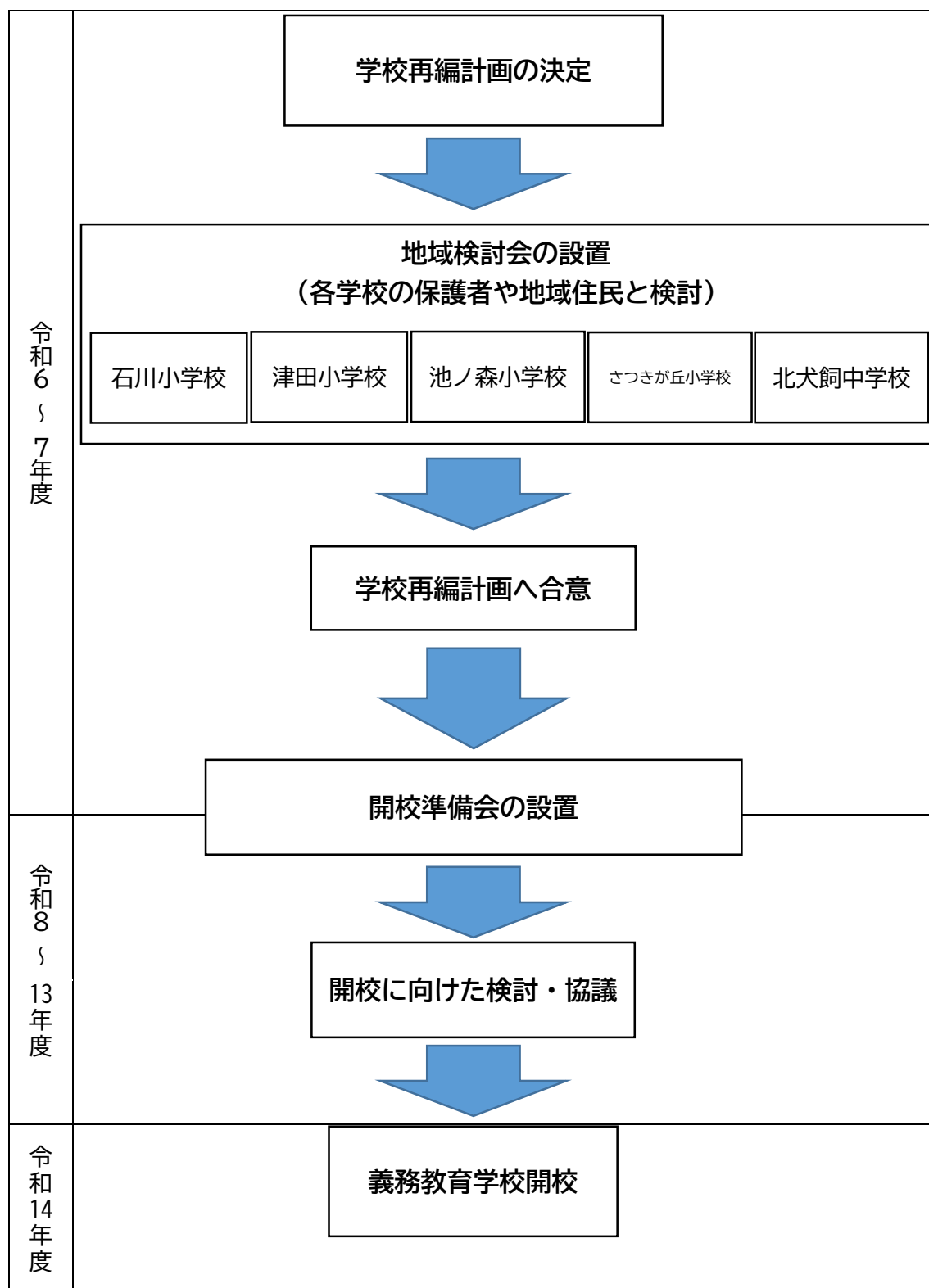
⑤北犬飼中学校

上石川・下石川・深津・白桑田・池ノ森・さつき町・茂呂・流通センター・
松原1丁目・松原2丁目・松原3丁目・松原4丁目

【通学区域図】



5 開校までのスケジュール



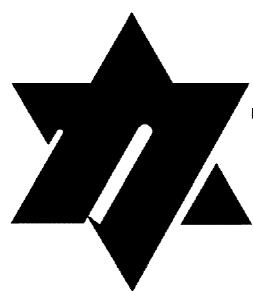
**鹿沼市立小中学校再編計画
前期実施プラン**

発行者：鹿沼市 教育委員会事務局 学校再編推進室

住 所：〒322-0064 栃木県鹿沼市文化橋町 1982-18

T E L：0289-63-8367 F A X：0289-63-2118

MA I L：saihen@city.kanuma.lg.jp



KANUMA CITY

鹿沼市